

関野常勝

(民主クラブ)

防災対策は

問 自主防災組織の活動状況と市の役割は。

答 自主防災組織は連合会、町内会単位で、31団体が組織化されている。消火器取扱訓練、救急救命講習他などを実施し、また、市の出前講座を利用した取り組みをされている。

市として、自助、共助の理念で、組織化されていない地域においても取り組みがなされるよう力を注いでいる。



麻町連合町内会防災訓練風景

問 救援物資の備えがある組織

団体はあるのか、備えは足りているのか。

答 組織において備蓄を行っているところはない。各世帯において3日分の飲料、食料の備蓄を推奨している。

まずは、組織化の支援に力点を置くことが備蓄の活動につながり、防災の大きな力となる。

問 災害における安全、安心メー

ールの発信基準と効果は。

答 発信は、災害情報の発生、終了及び訂正に関することで、避難勧告、大規模災害の発生が見込まれた時で、効果では市民への減災行動につながるものである。

問 学校における防災訓練の状況と非常時の対策は。

答 各学校で警察署及び各関係機関の協力で、年2回の避難訓練を実施し、地震、火災などの災害予防や危機的状況の回避のための指導をしている。

非常時の対応としては、学校長を先頭に各教員が避難誘導班、待避児童生徒管理班、救護班に分かれ、児童生徒の安全確保に向けて適切な避難に対応できる体制を整えている。

石上孝雄

(民主クラブ)

学校施設の耐震化

問 学校施設の耐震化と診断の進捗状況は。

答 国の地震防災対策特別措置法の改正に伴い、本市において



東小学校完成予定図

も小中学校の耐震化計画を策定し、国の補助事業を有効に活用し整備を進めてきた。PTA連合会からも、「今後の教育環境整備の在り方についての意見書」の提出があり、第5次富良野市総合計画にも反映させながら各学校の屋内運動場を改築し、小中学校の施設整備の耐震化を進

めてきた。

今年度の施設整備終了時点の耐震化率は82.8%で、全道平均の73.8%を超える予定。

樹海小学校は、調査結果を待ち整備方針を検討していきたい。山部中、樹海中は規模適正配置許可に基づき、生徒数の動向等を判断した上で、方向性を検討していきたいと考えている。

子ども達への読書啓発

問 子ども達への読書推進は。

答 ブックスタート事業の利用状況は、回答者の93%の保護者が絵本を活用していると回答。98%の保護者から今後も事業を継続してほしいと回答をいただいている。本事業の目的である親子のコミュニケーションづくりや家庭における絵本の読み聞かせに関する環境づくりに効果をあげていると判断している。

また、子どもの読書推進ボランティアの登録人数は、5団体30名で、活動状況は定期的開催している「おはなし会」や「英語のおはなし会」での読み聞かせ等々、読書推進活動に大きく寄与していただいている。